

ダム周辺知識

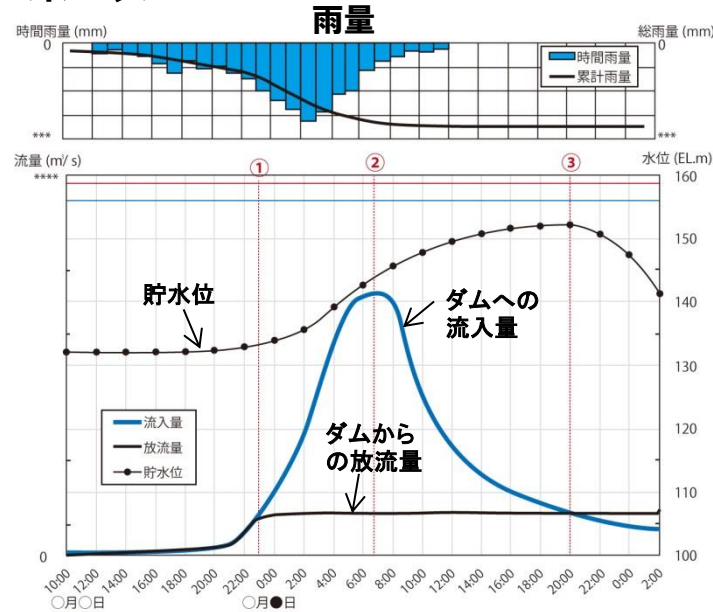
ハイドログラフ

ダムへの水の流入量や放流量、貯水位など時間的な変化を表すときに使われるのがハイドログラフです(右にイメージ)。

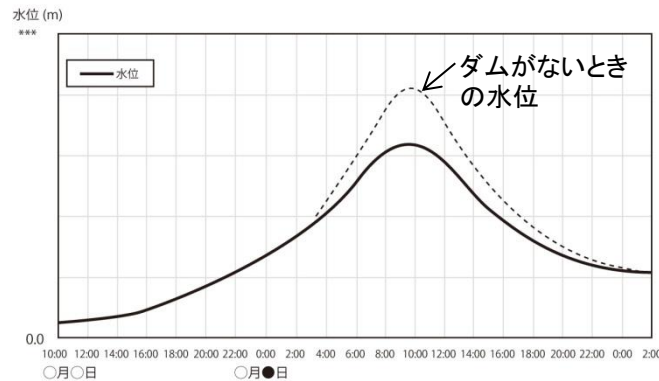
横軸は「時間」を、縦軸は「水位」や、流れ込んできた水やダムから放流した「量」を示します。この他、雨量や川の水位を組み合わせる場合もあります。

大雨の時のダムのハイドログラフと、川の水位データを結びつけて見ると、ダムが水をため、下流の水位が上がりすぎないように調節していることがイメージできます。

<イメージ>



流入量・放流量・貯水位



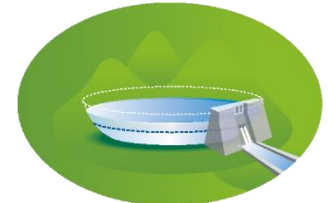
下流の川の水位

①以前(流入量=放流量)



流入量=放流量にしているため、ダムの貯水位はあがっていません。

①~③の間(流入量>放流量)



雨水が流れ込み、そのまま流してしまうと下流の水位が上がりすぎてしまうので、流入量>放流量にする調節を行っています。そのため、貯水位が上昇していきます。

③より後(流入量<放流量)

雨がやんで、流入量が減ってきたので、流入量より放流量を多くし、貯水位を下げています。(次の大雨に備えるため、元の貯水位に戻すために、下流の水位をみながら調節します)。